

令和2年（2020年）6月1日

報道機関各位

「北総研防火木外壁（PF仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。

◆ 概要

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部 北方建築総合研究所では、外装材に木材、付加断熱材にフェノールフォーム断熱材（PF）を用いた「北総研防火木外壁（PF仕様）」を開発し、フェノールフォーム協会（申請者：旭化成建材株式会社）において、建築基準法に定められる「防火構造」の国土交通大臣の認定を取得しました。

この「北総研防火木外壁（PF仕様）」は、道総研重点研究「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防火構造の開発」（平成29年度～令和元年度）の研究成果の一部を、旭化成建材株式会社に技術移転したものです。

「北総研防火木外壁（PF仕様）」は、建築事業者に自由にお使いいただけます。

1 大臣認定を取得した外壁名

- ・「北総研防火木外壁（PF仕様）」

2 大臣認定を取得した外壁の認定番号と構造名

- ・PC030BE-3846（1）～（4）
- ・グラスウール（ロックウール）断熱材充填／木材・フェノールフォーム断熱材・構造用面材表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3 「北総研防火木外壁（PF仕様）」の社会的意義

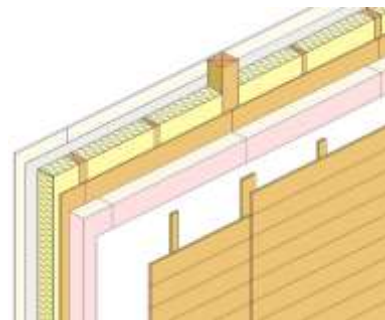
- ・木材仕上げには、高い人気があり、道民のニーズに対応できます。
- ・法令の防火規制に適合しつつ、可燃材料である木材を外装材に使用できます。
- ・北海道で広く普及する高断熱仕様の外壁であり、特殊な施工を要しません。
- ・道産木材の利用を促進し、道内産業の振興、森林資源の循環に貢献します。

4 「北総研防火木外壁（PF仕様）」の普及方法

- ・認定取得者である旭化成建材株式会社を通じて、建築事業者へ普及します。

5 今後の予定

- ・今後、「北総研防火木外壁」については、押出発泡ポリスチレン工業会・発泡スチロール協会共同でポリスチレンフォーム仕様の大臣認定を、さらに硝子繊維協会・ロックウール工業会共同でグラスウール・ロックウール仕様の大臣認定をそれぞれ取得する予定です。



◆同時配布先 上川総合振興局記者クラブへ同時配布

◆報道に当たってのお願い

多くの皆様に大臣認定を取得した技術を知っていただけるよう、北方建築総合研究所（旭川）にて取材を承ります。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）

建築研究本部北方建築総合研究所 企画調整部企画課（担当者：高倉）

TEL：0166-66-4218 E-mail：nrb@hro.or.jp ※平日8：45～17：30

旭化成建材株式会社 断熱事業部

土・日・祝日・年末年始はお休みです。

TEL：03-3296-3530 HP：<https://www.asahikasei-kenzai.com/akk/insulation/index.html>

木材を外装材に用いて「防火構造」の大臣認定を取得できる木造高断熱外壁を開発しました。



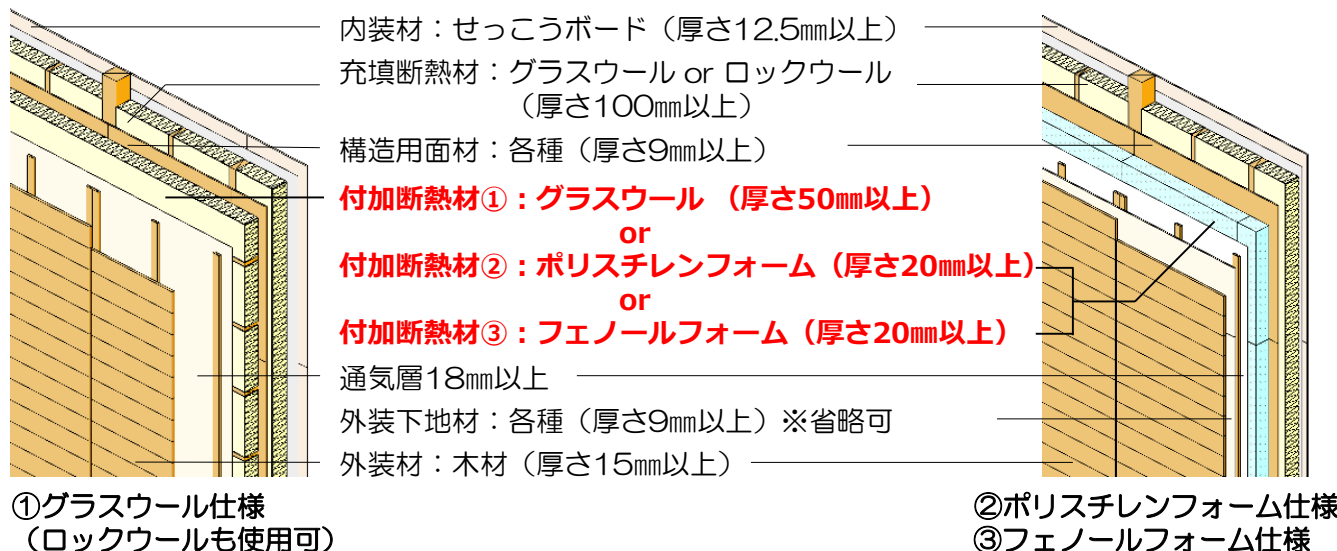
木材を外装材に用いた住宅

背景

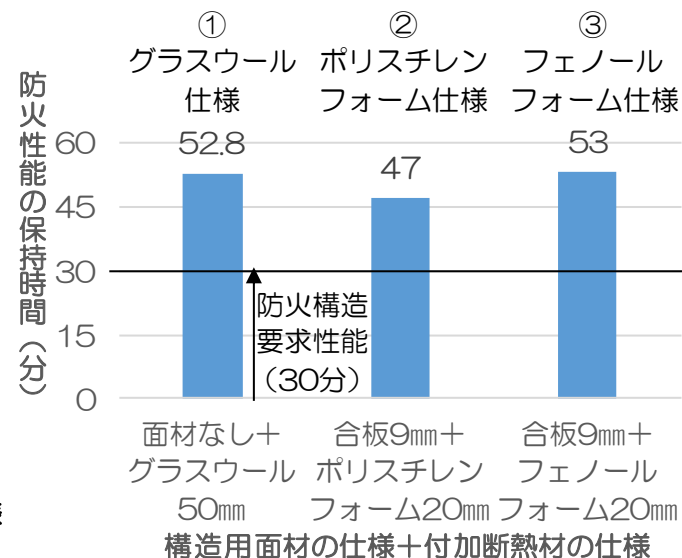
- 北海道で普及する木造高断熱外壁は、高い断熱性を上手に生かせば、高い防火性を実現できます。
- 木材の外装材には強いニーズがありますが、建築基準法の防火規制により使用が制限されます。
- 木材を外装材に広く使ってもらうためには、外壁として建築基準法の大臣認定の取得が必要です。

成果

1 「防火構造」の大臣認定を取得できる木造高断熱外壁を3種類、開発しました。



2 開発した外壁は、いずれも十分な防火性能を持っています。



期待される効果

- 大臣認定の取得により、魅力ある建築デザインの1つとして、道内の建築事業者を通じて広く普及が見込まれます。
- 建築物への道産木材の利用を促進し、北海道の森林資源の循環および地域産業の振興に貢献します。